



特定医療法人社団

# 鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス  
<http://www.hoyukai.org/>

第71号

発行:2012年3月15日  
発行責任者:  
特定医療法人社団 鵬友会  
事務局長 池島 守



## 24年度診療報酬改定を見据えて

～認知症医療の過去と現在～

横浜ほうゆう病院 医事課長 吉田 幸代

横浜ほうゆう病院（当時ほうゆう病院）が、開院してから11年。私も、病院開院1ヶ月前から入職し今に至っております。今回の診療報酬改定は、6回目になります。

開院当初は、老人性痴呆疾患治療病棟・老人性痴呆疾患療養病棟といった入院料で始まり、まだ世間的にも、認知症（当時は痴呆）専門病院はあまり知られていない厳しいスタートとなりました。一般病院の病棟では、社会的入院が話題になり、主な治療が終わると退院、次へ転院と繰り返されやっとたどりついたのが当院という患者さんや家族は少なくはありませんでした。ゆっくり治療・療養ができるというイメージがありました。

初代藤澤浩四郎院長、第二代小阪憲司院長と、歴史を経て横浜ほうゆう病院が全国に知られるようになり、世の中の認知症に対する関心やニーズも高まり、外来・デイケアや認知症治療病棟と急性期を中心とした積極的な治療を行い、その人らしい暮らしが営めるようにしていくということが認知症専門病院に求められるようになっていきます。

それに伴い、今回の改定で充実が求められる分野の一つとしても、精神疾患に対する医療・認知症対策の推進・リハビリテーション関連が重要視されています。認知症治療病棟入院料のおよその改定の内容は、

- ・30日未満は1,761点
- ・30日以上から60日未満は1,461点
- ・60日以上は1,071点

と点数でもわかるように、積極的な治療を行い、早期に在宅・施設等でその人らしい生活に戻れるようにする。また、急性期認知症の

患者さんを受け入れ治療し、地域へ連携するという10年をかけて診療報酬の考え方等もずいぶん違う姿になってきています。入院前や退院後の患者さんや家族へのサポート体制や退院支援等なお一層の充実が、病院の評価にもつながります。

ところで、改正についていろいろ言いましたが、この11年間医事課で勤めさせていただいて変わらないのが患者さんや家族の悩み・不安・苦しみ等です。

医事課は病院の窓口であるため、患者さんが安心できる環境が常に求められています。正確な診療報酬請求も大切な仕事です。しかし、接遇に関しては特に重視していることです。明るい挨拶や丁寧な応対・立振る舞いは基本ですが、相手の気持ちになってよく考え思いやりを持ち接するということが、つまり、相手がどんなことを求めているのか、どんな接し方・答え方がよいのかそれぞれ人によって違うのでそれがわかってこそ本当の接遇と日々精進しています。今まで医事課で患者さんやご家族と接してきて思ったことは、相手の話をよく聞くことが大切だということです。いろいろな話を聞いていると、ほっとした顔をされます。「お大事にどうぞ。」だけでなく「気を付けてお帰りください。」のさりげない一言の声掛けができる温かい医事課でいたい。この病院にきてよかったと思っただけだったら最高のおもてなしです。

昨年の9月から外来・受付窓口が新しくなり、開院時の『初心忘れず』の気持ちで第三代日野博昭院長の下で頑張り、地域に愛される病院でいたい。



# 音楽療法



横浜ほうゆう病院では、認知症の方のリハビリの一環で音楽療法を取り入れ、音楽クラブとして実施しています。音楽クラブは認定音楽療法士のもと、5つある病棟ごとに月2回、1回50分のセッションで行います。

簡単な体操で顔や手をほぐすと、いよいよ歌唱。先生の力強い歌声が響きます。曲は、童謡や唱歌から四季を感じるものを選曲し、曲によっては、手拍子や楽器の演奏なども取り入れ、体全体で音楽を体感できるよう工夫され、誕生日である方へは、皆でハッピーバースディを歌いお祝いもします。後半は患者様に昔懐かしい曲の中から1曲選んで頂き、その曲に合わせて皆で楽器を演奏します。

声を発したり、楽器を演奏することは、身体機能（特に呼吸器）の向上に繋がり、季節に合った歌や誕生日をお祝いすることも、現状を把握すること（見当識）にとっても大きな意味を持ちます。

参加された方を見ると、目を見開いて手拍子をしたり、声は出ていなくても懐かしそうな表情を浮かべ口を動かしていたりと様々な反応をされていました。



【右：村山認定音楽療法士  
左：鷺尾先生（ピアノ）】



【本田科長、富岡作業療法士を中心に手の体操】

【手作りのカードでお祝い】



【太鼓："どこかで春が"】



## ～外来紹介～ 横浜ほうゆう病院

皆さまにご迷惑をお掛けした外来の拡張工事が終わって半年が経ちました。以前は待合室が狭く、受診される方で混雑していましたが、今は余裕のあるスペースを確保することができ、また診察室を4室に増設し、処置室や面談室、売店も併設しました。

今後も患者様、ご家族様の目線に立ち、より良い医療・サービスを提供できるよう心掛けていきます。



【診察室】



【待合室】